

茨城県信用保証協会

[法人の概要]

平成18年7月1日現在

代表者名	会長 根本 榮一 (常勤)	県所管部課	商工労働部 産業政策課	
所在地	水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館内	電話番号	029-224-7811	
ホームページURL	http://www.icgc.or.jp	E-mailアドレス	soumubu@utopia.ocn.ne.jp	
資本金(基本財産)	23,973,783 千円	設立年月日	昭和24年12月4日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	基金準備金(自己造成分)	15,630,368 千円	65.2 %
	2	茨城県	3,784,437 千円	15.8 %
	3	常陽銀行	836,398 千円	3.5 %
	4	茨城県信用組合	513,240 千円	2.1 %
	5	関東つくば銀行	335,539 千円	1.4 %
	その他	155 団体	2,873,800 千円	12.0 %
設立目的	当協会は、「事業の維持・創造・発展に努める中小企業者に対して、公的機関として、その将来性と経営手腕を適正に評価することにより信用を創造し、『信用保証』を通じて金融の円滑化に努めるとともに、多様なニーズに的確に対応することにより、中小企業の経営基盤の強化と地域経済の活力ある発展に貢献する」という社会的使命を担っております。			

[事業の概要]

事業名	平成18年度事業費	内容
事業1 信用保証	5,985,622 千円	中小企業者等が金融機関から事業資金を借入するときに、強力な公的保証人となり、事業資金を借り易くしております。 万一、何らかの事情により保証付借入金の返済ができなくなった場合は、当協会がお客様に代わって保証付借入金を金融機関へお支払いしております。
事業2	千円	
事業3	千円	

[組織]

7月1日現在の人数	平成16年		平成17年		平成18年					
	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB				
役員	常勤理事	4	0	2	4	0	2	4	0	1
	非常勤理事	11	0	0	11	0	0	11	0	0
	常勤監事	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	非常勤監事	3	0	0	3	0	0	3	0	0
	計	19	0	2	19	0	2	18	0	1
職員	管理職	33	0	0	31	0	0	33	0	0
	一般職	61	0	0	59	0	0	58	0	0
	臨時職員	8	0	0	7	0	0	6	0	0
	嘱託職員	16	0	0	21	0	0	25	0	0
	計	118	0	0	118	0	0	122	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	26	26	28	42	122	40歳 11月	18年 7月			

[収支の状況]

茨城県信用保証協会

(単位:千円)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度
収 支 の 状 況	収入合計	29,861,611	28,629,160	28,661,483
	事業収入	6,879,694	7,816,243	8,749,083
	事業外収入	22,981,916	20,812,917	19,912,400
	支出合計	29,819,878	27,987,491	26,700,318
	事業支出	4,157,925	4,765,903	5,148,643
	事業外支出	25,661,953	23,221,588	21,551,675
	うち管理費	1,585,487	1,571,423	1,522,461
	うち人件費	1,022,987	965,523	955,323
	当期収支差額	41,733	641,670	1,961,165
	正味財産増加額	321,917	286,961	277,283
	正味財産減少額	977,833	942,680	354,120
当期正味財産増減額	△ 614,183	△ 14,050	1,884,328	
前期繰越正味財産	29,628,000	29,013,817	28,999,768	
期末正味財産	29,013,817	28,999,768	30,884,095	
財 産 の 状 況	資産	722,552,015	768,215,928	786,512,991
	流動資産	49,705,366	52,597,587	57,862,587
	固定資産	672,846,649	715,618,341	728,650,404
	負債	693,538,197	739,216,160	755,628,896
	流動負債	0	0	0
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	693,538,197	739,216,160	755,628,896
	うち長期借入金	9,191,000	9,015,000	11,549,000
正味財産	29,013,817	28,999,768	30,884,095	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度
財 的 関 与 状 況	補助金	138,299	146,422	135,330
	委託金	0	0	0
	貸付金	0	0	0
	計	138,299	146,422	135,330
	財政的関与の割合(%)	0%	1%	0%
	損失補償・債務保証	272,468	262,056	237,472

[平成17年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	中小企業者向け県融資制度のうち、制度の目的を鑑み特に費用負担の軽減をすべき制度について、お客様が負担する信用保証料の一部を県が補助することにより、お客様の実質的な負担軽減を図っております。
委託金	
貸付金	

[評点集計]

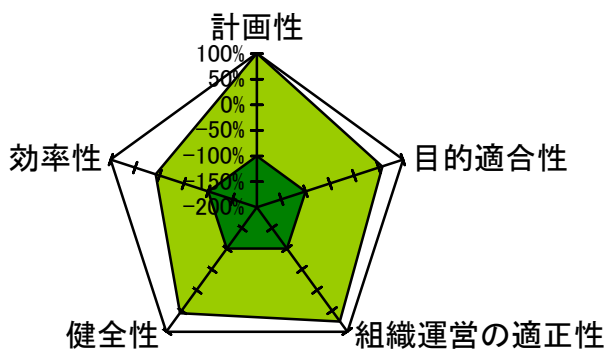
公益法人会計用

茨城県信用保証協会

警戒指標

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	8	14	57.1%
組織運営の適正性	4	6	8	75.0%
健全性	11	22	40	55.0%
効率性	8	2	28	7.1%
合計	32	46	98	46.9%

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題・対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
当協会は、18年度より「中期事業計画」(平成18年度～平成20年度)及び「年度経営計画」をスタートさせ、ホームページで公表しております。	当協会は、「信用保証」機能をもって中小企業金融の円滑化を図り、健全な中小企業を育成する役割を担っております。 当協会をご利用いただいているお客様は、県内中小企業者の約4割を占めております。	事業年度終了後、「中期事業計画」及び「年度経営計画」について、自己評価を実施し、さらに、第三者による評価も実施される予定です。 それらの評価結果については、ホームページで公表する予定です。	「信用保証」の裏付けとなる基本財産の充実が重要であります。18年度末の基本財産は、前期比8億円増加し、239億円となりました。 資金運用につきましては、安全性や流動性に留意しながら、運用利回りの向上に努めております。	人件費抑制を図りつつ、有能な人材を適材適所で配置し、保証審査業務や債権回収業務等に当たっております。 また、予算執行状況を月次で分析し、無駄な経費の削減に努めております。
今後の事業展開の方向	県内中小企業の景況感には改善の兆しが見られますが、大企業に比べれば回復感は遅れており、また、地域間・業種間によるバラツキが散見されるなど、依然として中小企業を取り巻く経営環境は厳しい状況にあります。 このような状況の下、当協会は、お客様の多様化する資金需要に迅速かつ的確にお応えするため、国及び地方公共団体の施策に呼応しながら金融機関や商工団体と緊密な連携を図り、お客様との面談や現地調査に積極的に取り組み、不動産担保や連帯保証人に過度に依存しない保証を推進してまいります。 さらに、創業・新事業支援、事業再生支援ニーズなどでは、外部の専門家と連携を図りながらお客様の経営課題に積極的にお応えしてまいります。 今後とも皆様のご期待にお応えしていくため、役職員一丸となって全力を尽くし、地域経済の発展に貢献してまいります。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
年次計画及び中・長期的な計画を策定したうえで信用保証業務を推進している。	中小企業の信用を補完する機関として、積極的に保証需要に対応し、中小企業の金融円滑化に寄与している。	早期回収の促進や適正な保証審査を行うための組織を整備するなど、状況に応じた組織運営をしている。	事務費の節減や人件費抑制を図るなど経費削減に取り組むとともに、資金運用に関しても安全性に留意するなど、経営の健全化に努めている。	審査体制の充実と迅速化を図るための審査支援システムや企業支援の強化を図るための期中管理支援システムの有効活用するなど、保証業務の効率化に努めている。
法人担当課の意見	審査体制の充実等による積極的な取り組みにより求償権回収の向上や代位弁済額の減少が図られ、平成16年度以降、収支は大幅に改善されている。また、人件費削減など経費削減や保証審査支援システムをはじめとする各種システムの活用など、継続して経営の健全性や効率性に努めていることから、今後とも中小企業への支援がなお一層図られるよう指導してまいりたい。			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>保証審査の迅速化を図るシステムの導入や保証した企業を管理、指導し代位弁済の予防に繋げる組織の整備、さらに、求償権回収の強化など、協会の積極的な取組みの成果が見られる。 引き続き、利用者の視点に立った、利用しやすい保証制度への見直しに努めるとともに、求償権回収の強化を図られたい。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>保証審査支援システム等の積極的な活用により業務の効率化を図る一方で、商工関係団体や金融機関等との緊密な連携を図るとともに、企業面談や現地調査に積極的に取り組むことで、常に中小企業者の現状把握や情報収集に努め、積極的な保証に取り組んでいる。</p> <p>県としては、これら体制が維持拡充されるためにも経営基盤の強化を図り、今後とも利用しやすい各種保証制度が充実され、中小企業への支援が一層拡充されるとともに、求償権の回収については、中小企業者の現況に応じた回収方針や行動計画を策定するなど、回収強化に努めるよう今後とも指導していく。</p>

< 茨城県信用保証協会

から県民のみなさまへ >

県内の中小企業を取り巻く経営環境は、業種間地域間に格差が見られるなど、総体的にはまだまだ厳しい状況が続いております。このような中、当協会は、引き続き「信頼される協会、顔の見える保証協会」を目指し、中小企業の良きパートナーとして総力をあげて中小企業の発展を支援してまいります。

平成19年2月 会長 根本 榮一